

令和5年度

事業報告書

令和5年4月1日から

令和6年3月31日まで

公益財団法人 山田育英会

令和5年度 事業報告

【公1】公益目的事業

大学及び大学院に修学する国内外の学生であって、志操堅実、学力優秀、かつ、身体強健でありながら経済的理由により、学業の継続が困難な者に対し、育英奨学の事業を行い、もって社会に有用の人材を育成するため、以下のとおり「奨学金の支給事業」及び「教育研修及び人材交流に関する事業」を行った。

1. 奨学金の支給事業

(1) 奨学生数と給与金額

①奨学金の内容

- ・奨学金の種類：給与奨学金（返還義務なし）
- ・支給期間：奨学生の在学する正規の最短修業期間
- ・支給金額：大学学部学生 1ヵ月2万円
大学大学院学生 1ヵ月2万5000円

②奨学生数と支給した奨学金

大学学部学生	215名（継続121名、新規94名）
大学大学院学生	59名（継続33名、新規26名）
計	274名

奨学金支給額 66,590,000円

※大学学部学生継続奨学生のうち6名は提出義務のある書類を提出期限までに提出いただけなかったため奨学金を停止し、大学学部学生継続奨学生及び大学大学院継続奨学生のうち2名は休学により奨学金を停止したため、奨学金支給対象奨学生は266名となる。

※大学学部学生継続奨学生のうち1名は提出義務のある書類を提出期限までに提出いただけなかったため提出いただくまで支給を停止したため、8月分から8ヶ月分の支給となった。

※大学学部学生継続奨学生のうち2名は10月に復学したため、10月分から6ヶ月分の支給となり、大学学部学生継続奨学生のうち1名は前年5月より休学し、4月に復学したため、5月分から11ヶ月分の支給となった。

※大学学部学生継続奨学生及び大学大学院新規奨学生のうち2名は10月より休学のため支給を停止したため、6ヶ月分の支給となった。

※大学学部学生継続奨学生のうち1名は10月より留年のため支給を停止したため、6ヶ月分の支給となった。

(2) 新規奨学生の選考

①奨学生の募集方法

大学及び大学院1年生を対象とし、「大学推薦による方法」と「公募による方法」により、新規奨学生94名を新規奨学生として採用した。

・大学推薦（34名の応募があり34名を採用した）

推薦依頼校9校に各6名の奨学生候補者の推薦を依頼した。

・公募（98名の応募があり60名を採用した）

募集要項を当会ホームページ、全国で販売されている雑誌（螢雪時代 臨時増刊号）に掲載し、学生からの直接応募を受け付けた。

②奨学生の選考方法

「奨学金給与規程」に基づき、7月5日に、奨学生選考委員会による選考を行った。選考は、推薦書・学業成績・課題論文等を選考基準に照らし総合的に審査をし、選定した。

2. 当会の奨学生を対象とする教育研修及び人材交流に関する事業

奨学金を受ける学生に対し、研修及び交流の機会を提供することを目的として、次の行事をオンライン配信等にて開催した。なお、研修旅行については、以下の理由により開催しなかった。

①研修会・懇親会の開催

※9月9日に大阪の会場で、奨学生に対し交流の機会を提供し、また、奨学生の学業・生活状況を確認するために、研修会をオンライン配信及びオフラインにて開催し、オフラインには95名の奨学生（スタッフ等のアラムナイ（卒業生）含む。以下同じ）が参加した。なお、懇親会は69名の奨学生が参加した。

②就職活動等に関する研究会兼懇親会

※12月2日に大阪の会場で、奨学生に対し就職活動等に関する情報交流の機会を提供する会を、オンライン配信及びオフラインにて開催し、オフラインには76名の奨学生が参加した。なお、懇親会は72名の奨学生が参加した。

③研修旅行

※数年毎を目処に出捐企業であるダイキン工業株式会社が所有している研修所等において、奨学生間の交流の機会を提供するとともに、毎回異なるテーマを設定し、当該テーマについての研修を計画しているが、令和5年度はコロナ禍を考慮し、研修旅行は行わなかった。

④卒業式

※3月9日に大阪の会場で、令和5年度卒業予定の奨学生を中心に、奨学生間の交流を図ることを目的として、卒業式をオンライン配信及びオフラインにて開催し、オフラインには70名の奨学生が参加した。なお、懇親会は67名の奨

学生が参加した。

⑤事業支出

15,924,731円

3. 特別奨学生支援資金に基づく特別奨学生支援活動

自然災害や主たる生計維持者の不慮の事故・病気などにより生計が急変した学生の緊急支援

(1) 奨学生数と給与金額

①奨学金の内容

- ・奨学金の種類：給与奨学金（返還義務なし）
- ・支給期間：奨学生の在学する正規の最短修業期間
- ・支給金額：大学学部学生 1ヵ月2万円
大学大学院学生 1ヵ月2万5000円

②奨学生数と支給した奨学金

大学学部学生	13名（継続8名、新規5名）
大学大学院学生	1名（継続1名）
計	14名

※新規採用奨学生の5名については10月採用のため、10月分から6ヶ月分の支給となった。

奨学金支給額 2,820,000円

(2) 新規奨学生の選考

①奨学生の募集方法

新型コロナウイルス感染症の拡大により生計が困窮された学生（学年は問わず）を対象に、新規奨学生5名を新規奨学生として採用した。

なお、10月採用となった。

- ・大学推薦（学内公募含む。5名の応募があり5名を採用した）
推薦依頼校9校に各1名の奨学生候補者の推薦を依頼した。

②奨学生の選考方法

大学推薦を原則とする。

4. 奨学生の自立的活動を支援することによる教育研修事業

奨学生が、実社会での経験を積んだアラムナイ（卒業生）などと協力をしながら、自立的に活動をすることにより、成長を促す教育研修事業を予定していたが、令和5年度は参加者がいなかったため、実施しなかった。